

謹んで新年のお慶びを申し上げます



奥尻町長 新村 卓実

新年あけましておめでとう
ございます。

町民のみなさまには、輝か
しい希望に満ちた新春を健や
かにお迎えのことと心からお
慶び申し上げます。

日頃よりそれぞれの分野で
ご活躍され、町の活性化のた
めにご尽力をいただいておりますこと、さらに、町政に対
し、ご理解とご協力をいただ
いておりますことに、厚くお
礼申し上げます。

本年は町民皆様の負託を受
けて町長に就任して4年目と
なり、気持ちを新たにしてい
年の施政等を簡単に述べたい
と思います。

さて、昨年を振り返ります
と、国内外において大規模な
災害が発生しております。

2月にはニュージーランド
のクワンタベリー地震で日本人
が28人亡くなりました。
また、タイ国ではモンスー

ンと台風により川が氾濫し、
「タイの洪水」として230万人
に影響を与え、日系400社が被
害をこうむっております。

国内においても、9月には
台風12号と15号が日本列島を
襲い、特に12号は四国や、紀
伊半島、近畿地方に死者行方
不明者が90名以上となる災害
を発生させました。

そして、3月11日、宮城県
沖において人間の想定を遙か
に超える地震による大津波が
発生し、東北地方の多くの尊
い人命を一瞬のうちに奪いま
した。

その津波は宮古市田老地区
に建設されている約10メート
ルの防潮堤をいとも簡単に乗
り越して集落の家々を次々と
破壊していく姿をテレビ映像
に映し出され18年前に私達が
経験した出来事を思い出すと
同時に地震や津波など自然災
害の恐ろしさをあらためて再

認識したところであります。

この東北大震災で犠牲とな
られた方々のご冥福を祈ると
共に被災された地域の一日も
早い復興を切に願うものであ
ります。

さて、国内経済において、
円高、デフレの流れが長期に
続いており、政府や日銀はこ
れらの打開策として何点か経
済政策を打ち出しております
が慢性的な不況情勢から脱却
できないでおります。

また、経済基盤の弱い北海
道では深刻な状態であり、北
海道行政の方も依然として厳
しい財政運営のため公共事業
の減少、縮小となっております。

このような中、本町として
も不振にあえぐ公共土木事業
の活性化を目的に道々改良工
事、災害防除工事、建設海岸
整備工事（越波解消等）を北
海道に強く要望しております

| | |
|----------|--------|
| 副町長 | 荒谷 時夫 |
| 総務課長 | 竹田 彰 |
| 地域政策課長 | 後藤 巖 |
| 住民課長 | 田中 敦詞 |
| 建設水道課長 | 小山内 政悦 |
| 水産農林課長 | 鴈原 哲夫 |
| 青苗支所長 | 坂本 敬 |
| 環境センター所長 | 吉澤 利和 |
| 空港管理事務所長 | 松川 治樹 |
| 発電課長 | 柴野 憲司 |
| 会計管理者 | 泉澤 克尚 |
| 他職員 | 一 同 |



業としても本年東風泊地区の水道拡張事業申請を予定しております。

医療・医師対策として昨年は西原院長、竹下医師が都合により退職となりましたので急遽泉里医師を招聘いたしました。本院の良好な運営や安心のできる医療形態とすれば医師の体制だけでなく歯科部門、看護部門、及び技師や薬局等スタッフの充実が最良と考えておりますので今後においても医療事業の充足に努めてまいります。

さて、本町における基幹産業の漁業であります。昨年「イカ漁」や「ウニ、タコ漁」については前年度と比較して水揚げ高が増りましたが、その他の主漁水揚げ高が低迷し、また燃油高騰などで漁業従事者を取り巻く環境は依然として厳しく、その中でも

「ホッケ底建網漁」は近年、経験のない落ち込みとなっております。

このような中、奥尻港湾北地区整備事業や青苗漁港整備を継続するとともに、アワビ放流事業やニシン・サケ・サクラマスの放流事業、地域づくり交付金事業や離島漁業再生支援事業において奥尻の岩ガキとホヤの増養殖事業など島のつくり育てる漁業を積極的に推進することいたします。

一方、農林畜産業ですが、飼育牛においては北海道でも原発の風評被害等重なり市場価格が低く畜産農家にとっても厳しい状況であります。また、米や野菜、アスパラの収穫等については例年並みでありましたが、昨年9月頃から盛んにマスコミ報道されたTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題において、政

府は交渉参加を決定したことにより本町でも今後は大きな影響がありますので政府の動向に十分注視してまいりたいと考えております。

林業については昨年「奥尻島森林資源活用促進協議会」を発足させ民有林・町有林の除間伐やその活用など奥尻町内の森林資源の保全を推進してまいります。

本町の観光における現状であります。観光客について対前年度比8・8%の減と厳しい状況でありましたが本年も奥尻町、江差町、せたな町で構成する協議会を軸とした広域連携の展開で道内外に積極的にPRを行い、新しい観光商品を作っていくことを考えております。

保健・福祉・介護・年金等の社会保障事業において、これらを取り巻く国の政策も安

定的な財源を捻出できない中、その解消策を模索しております。

本年3月末までに地域支え合い体制づくり事業補助金を活用し、災害時援護者マップシステムを作成します。

また、その高齢者実態把握調査のデータは同じく3月に作成される「奥尻町福祉計画」や「高齢者福祉計画・介護保険計画」にも反映されますので今後この計画に沿って高齢者福祉事業の更なる向上に努めてまいります。

本町においては、国内外の情勢を見定め、活力あるまちづくり目指し、職員共々一丸となって邁進する所存でございます。

結びに、町民の皆様にはより一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年もご家族皆様のご多幸を

心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成二十四年 元旦

奥尻町国民健康保険病院

- 副院長 柴田 正
- 院長 泉里 俊
- 歯科医長 渡邊 一史
- 薬局長 渡邊 久代
- 看護師長 前田 裕子
- 事務局長 禿 義廣
- 他職員 一同

奥尻町選挙管理委員会

- 委員長 成田 敏雄
- 書記長 竹田 一彰
- 他委員 一同

奥尻町監査委員

- 代表監査委員 佐藤 稟一
- 事務局長 小山 和恭

奥尻町農業委員会

- 会長 長谷川 博
- 事務局長 鴈原 哲夫
- 他委員 一同

時代に流されない「活力ある町」に

時代に流されない